TM397 パワーサプライモード 使用方法

TUNEモード｜車両診断・エンジン調整・電源サポート用

13.6V	最大5A	3秒長押し
供給電圧の目標	TUNEモード時	LED #1b と #6/#7/#8

エンジン停止中の車両診断やプログラミング作業などで、車両側の電力消費によるバッテリーの放電を抑えるためのモードです。TM397は13.6Vを維持し、最大5Aを供給します。

1 使用前に確認する

> 重要：バッテリー残量75%以上で使用
> TUNEモードは、充電プログラムがSTEP 8（約75%）以上に進んでから起動できます。充電開始直後やSAVE／回復充電中は起動できません。

2 起動手順

1	充電器を接続して通常充電を開始 TM397を対応する12.8V LiFePO ₄ バッテリーに正しく接続し、AC電源を入れます。
2	STEP 8以上に進んだことを確認 充電が進み、約75%以上の状態になっていることを確認します。
3	ボタンを約3秒間長押し LED #1b（TUNE）とLED #6・#7・#8が同時に点灯したら、パワーサプライモードです。

モード中の出力

定電圧 13.6V
最大電流 5A
用途：車両診断、エンジン調整、プログラミング更新時など



LED表示とモードの終了

作業中はLEDの組み合わせを確認し、バッテリー残量の低下に注意してください。

3 TUNEモード中のLED表示

LED表示	状態	対応
#6・#7・#8 点灯	電源供給は正常	通常どおり作業できます。
#7・#8 点灯	車両側の消費電力が大きい	車両の消費が充電器の供給能力を超え、バッテリーも放電しています。負荷を減らしてください。
#8 のみ点灯	警告：残量約10%	サポート残りは約1〜2分が目安です。さらに残量が低下するとTUNEモードは自動終了し、充電STEP 4（LED #3）へ戻ります。

4 通常充電に戻す

手動で終了	ボタンを約3秒間長押しします。約3秒後に通常の充電プログラムへ戻ります。
自動で終了	バッテリー残量がさらに低下すると、TUNEモードが自動的に解除され、充電STEP 4（LED #3）が再開します。

5 作業時の注意

使用条件	充電状態75%以上（STEP 8以上）で使用してください。リチウムバッテリーは一般的なバッテリーよりAh容量が小さいため、残量に注意します。
負荷の管理	LED #7・#8が点灯した場合は、車両側の電力消費が大きく、バッテリーも放電しています。不要な電装品を停止するなど負荷を減らしてください。
用途	本モードは車両診断・調整などの電源サポート用です。通常のバッテリー充電には通常充電プログラムを使用してください。

参照資料
TM390-IN1-210812「OptiMate Lithium 4s 6A」取扱説明書（TM390 / 391 / 392 / 397 / 398 共通）内のTUNEモード説明。